



おりじん

[O・R・I・J・I・N]



平田加工場 作業場

100年・150年と住み継げる家をつくる

驚きの11mの梁と大工さんの凄さを見た。

「そっちをもっと上げて、すこし右だ」遠藤棟梁の大きな声が響いた。続いてカーンカーンと木槌の音が聞えてきた。

「何をしているの?」と聞いたところ、現場で組み上げる梁をここ(加工場)で予め継いでカンナをかけて仕上げ、それをまたバラして運ぶという。室内に表れる長さのある化粧梁は、すべてこのようにして仕上げ、表れない梁は現場で組むという。

幅6寸(約18センチ)高さ1尺2寸(約36センチ)の二本の梁は、別々に見てもすごい太さで迫力があるのに、継目を丁寧にカンナ掛けし、一本になった約11mの長さを目の前にすると、改めて見事なものだなと思いました。室内に表れない(化粧梁でない)梁は継ぎ目がやや粗くてもそれはそれで良いので、この作業はないのです。またこれは、この建物だけの特別なもので

はなく、少し大きめの建物や間取りによっては普通にみられるものです。それにしても私が改めてビックリするほど見事なのですが、実際組み上がってしまうと高い場所に行ってしまうので、それほど立派に見えなくなってしまうのがとても残念です。

少子高齢化や住宅余りの時代を迎え、今後、建築棟数は少なくなっていくと思います。私共は数を追わないでより質の高い住宅をつくっていく方向に数年前から方向転換しています。これからは、このような大工さんの仕事をお施主さんに間近で見てもらい、できたら少しでも作業に参加してもらうことが必要になってくると考えています。

大工さんの仕事ばかりではありません。左官屋さんのしつこい塗りや建具屋さんの仕事にも、家族で参加していただくことで「職人さんの手仕事の家づくり」は、本当に価値のあるもので「わたしたちの家は唯一無二だ」と感じていただける機会になると思います。そうすることで我が家にもっと愛着をもって住んでいただけるし、100年、150年と永く住み継いでいける家になると確信しています。



四季工房の家づくりを支える若い大工さん
(遠藤春希さん、佐藤拓海さん、遠藤綾聖さん)



組み上がった大きな梁は圧巻!

代表取締役 野崎 進



大家さんも住みたくなる
戸建賃貸の
新しいモデルが誕生！

ひろびろ～
92㎡
(約28坪)



▲ 10年後が楽しみです！
樹木と共にコミュニティ
の成長が期待できます。

始まる、小さなまちづくり えにし 次世代型戸建賃貸「縁」

四季工房の家にお住まいの方であれば、この賃貸住宅のドアを開けた瞬間、「あ、我が家の空気だ」「え？このクオリティで賃貸なの？」と驚かれると思います。次世代型戸建賃貸縁(えにし)は、家を持つことよりも住環境や暮らしそのものに関心の高い方たちにとっては、充実したプライベート空間と賃貸である気軽さを両立した最適な物件だと思います。

ENISHI TOWN小平モデルは、4棟5世帯からなり、各専有面積が92㎡(約28坪)と広々としています。薪ストーブの付いた1Fリビングや、玉川上水の四季を楽しめる2Fリビングなど、暮らし方のバリエーションを用意しました。また、敷地の形状や土地の制約を活かした各棟の配置は、横並び一辺倒な戸建にはない、ゆとりある有機的な屋外共有空間を創り出しています。

感性を育む豊かなコミュニティスペース



プライベートな庭でありながらもフェンスなどを設けないことで、まるで雑木の庭に家が点在しているかの様です。草木の成長や季節の移ろいを感じたり、グランピングを楽しんだり、住人同士が程よい距離感で住まうことで、「新たな縁」が生まれます。

四季工房の「縁のまちづくり」は、土地の有効活用だけではない、次の世代へ安心して引き継げる不動産価値の創造をお手伝いいたします。ご興味のある方、見学されたい方は下記の見学会へご参加下さい。

四季工房OB様 特別見学会

2024年 1/26(金)・27(土)
2/3(土)・4(日)

2週連続
で開催！

お申込みいただいた方へご案内を送付いたします。

●お申込みは、四季工房 東京支店へ●

TEL.03-6273-3101 FAX.03-6273-3801

✉ tokyo@sikikobo.co.jp

住み心地良すぎて、
なかなか退居者が出不いかも！▼



▲ A棟リビングダイニング

チルチンびと2024年春号に
掲載予定です。お楽しみに！

パンフレットも
ご用意してます！
ご請求下さい。



“住みたい”を応援します!



住み心地の良い家でのびのび暮らす

四季の家“新”フリースタイル

2021年頃から続く建築資材の高騰も、高止まりで落ち着いた感があります。ここに来て、職人さんの手間も上がって、弊社も金額を以前よりも高くせざるを得なくなりました。また、本社のある郡山市でも最近では土地価格が落ち着いているとはいえ、学区や利便性を求めると安くはないので、土地購入から注文住宅を計画している若い方は、どうしても家そのものにかけられる金額が少なくなる状況です。

そこで、従来からの無垢の木と自然素材やエアパス工法の仕様はそのままに、

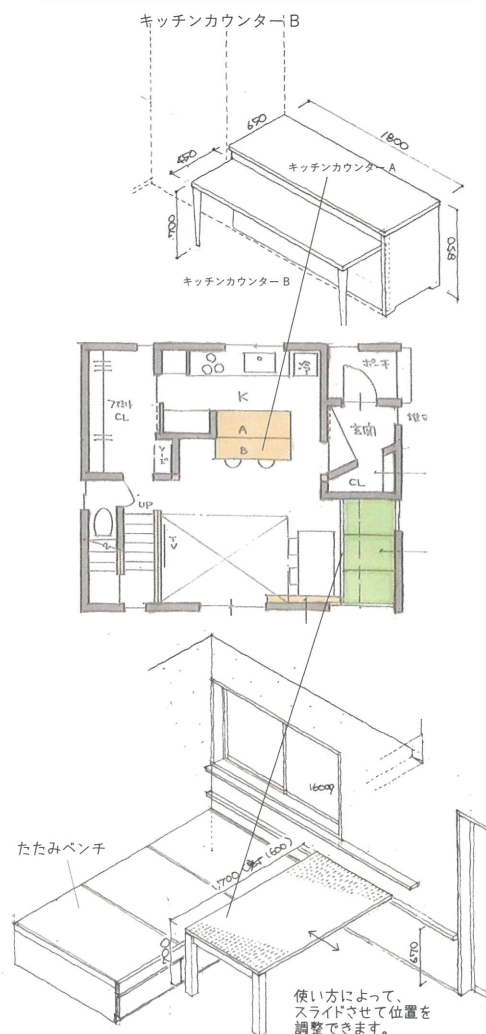
- ① 建坪をコンパクトに抑えること
- ② シンプルな架構にする。
- ③ 若い世代向けに価格を抑えた造作家具を企画。

この3つを必須条件に、機能性や使い勝手を考えぬいたプランにすることで価格を抑えました。それが新しい「四季の家フリースタイル」です。カウンター置ベンチなど、造作家具は器用な平田加工場のスタッフにより製作される手づくり家具です。材料もMADE IN平田加工場、100%自社ブランドになります。従来どおり、自由な間取りにしたい方には、四季の家フリースタイル+(プラス)としてご提案いたします。

ハウスメーカーでは建築単価が坪当たり100万円超が当たり前になってきましたが、四季工房の基本姿勢、「高品質の木造注文住宅」は変えずに、できるだけ価格を抑え、本当の意味での優良住宅を将来へ残すべく邁進してまいります。

新しいフリースタイルの詳細は、各拠点の営業担当者にお問合せください。

価格を抑えた造作家具(一例)



ご興味のある方は
お気軽に資料をご請求下さい。

(施工本部 檜垣 照章)

親子で遊ぶ、 木に触れて楽しむ



8月に郡山本社・宮城・東京の各拠点で、第2回「親子で楽しむ木工教室」を開催いたしました。総勢188名が参加、木工教室をメインに、紙芝居形式の〇×クイズや、左官体験・カンナ掛け体験・刻み見学なども実施しました。ご参加いただいたみなさんからは「普段はできない体験を親子でさせてもらい、楽しい時間を過ごせました」という嬉しい声が数多く寄せられました。今後も日本の木や森への関心を深める、木に親しむ木育イベントを継続していきます。是非、お子さんやお孫さんにご参加ください。

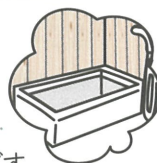


～住まいのお手入れ vol.6～

檜ハーフユニットバス



浴室をカビさせないコツ、 冬の間は浴室の窓を開けないこと!?



- 冬の間は暖房によって、室内の空気が乾燥しがちです。その「乾燥した空気を浴室に入れて乾かす」という考え方です。入浴後は、浴室と洗面のドアや引戸を開放する。これだけでOK! (浴槽はフタして下さいね～)
- 檜の壁面に付いた水滴も、タオルで拭いたりしない。石鹸の泡がついてもシャワーでサッと流すだけです。春先になり暖房をしなくなったら、入浴後に窓を開けて水蒸気を外に出して換気扇を回して下さい。



注意

外排気型の暖房ではないストーブ(持ち運びタイプ)をお使いの方や洗濯物が干されている場合は室内に湿気が滞りがちになりますので、上記の換気法は当てはまりません。

歴史ある自然の中で 『薪ストーブを 楽しむ暮らし』

(埼玉県三芳町 井田様)

けやき並木の続く、通称「芋街道」沿いに井田様の「地」があります。

江戸時代に川越藩主柳沢吉保が藩政を充実させる目的で開拓し、農作物の増産に励んだ地であり、幅6間の道の両側に農家が並ぶ均等な地割がされています。間口が40間(約72m)、奥行375間(約682m)の長細い土地に、屋敷、耕作地、雑木林が三点セットで割り当てられ、それらが連面と続く広大かつ整然とした景觀が今でも残されている地域です。井田様のご先祖さまがこの地に住み、農業を始められてから現在の当主である井田和宏さんで十三代目になるそうです。雑木林の落ち葉を掃き集め、堆肥にして畑に施す、江戸時代より変わらない「循環型農業」で、さつまいも「富の川越いも」を生産されています。

お住まいになられて2週間、初めて薪ストーブを焚く！という日に訪問させていただきました。建てたばかりなのに落ち着いた佇まいで、周囲と馴染んでいるのは、井田様の循環型農業と四季工房の「地域循環型の家づくり」が、「自然と共にあること」、「安全・安心であること」、「時間をかけた丁寧でこだわりの持った仕事であること」といった大切にしている部分が同じで、共鳴しているからなのではと気づきました。晴天の昼間、大きなけやきを見上げると、暖かな気が満ちていました。「ここで生まれ、育ち、いずれ土に還る」という生命の循環が何百年も繰り返され、「この地を守り継ぐ」覚悟を、ご先祖さまがあたたかく見守ってくださっているからだ、「大地に根を張る」とはこういうことなんだと納得した次第です。



IRONDOG No.7

焚きはじめなので、ストーブ本体と煙突が温まるまで少し時間はかかりましたが、途中から炎の様子が変わり、熱線が顔に届くくらいに。スチーマーのお湯があつという間にぐらぐら！



ずっと眺めていられるね〜

昔、薪風呂の経験のあるお母さまが、薪ストーブを焚くコツを一番知っているかも！

関東エリア 薪ストーブユーザーの皆様へ 乾燥薪の販売と建築廃材の無料提供を始めました！

この度、ご紹介いたしました井田様に場所をお借りして、自己申告制(セルフ)の薪置き場を設置いたしました。

●案内が届いていない方がいらっしゃいましたら、遠慮なくご請求ください。

※薪は一にも二にも乾燥が大事です。ご自宅へ持ち帰った後も、風通しの良いところに保管してください。

■薪ストック場住所 埼玉県入間郡三芳町上富254



薪ストーブ愛好家にはたまらない焼き芋！薪引き取りの際には是非、井田さんの「富の川越いも」をお買い求めください。

◀井田農園の看板が目印です。



美味しいよ〜



詳細はこちらからもご覧になれます

薪ストーブ紹介

見た目もパワーも進化して、10分でお部屋が暖かくなります！

IRONDOG No.7

ヨーロッパ屈指の高品質な铸铁ボディが、確かな暖かさをもたらします。着火してしまえば、あとは簡単な空気調整をするだけ。



HWAM 4620C

デンマークの厳しい排煙規制で培われた技術「オートパイロット」により自動で最適な空気調整を行います。大きなガラススクリーンに映る炎の美しさまでもデザインされています。



■薪供給のお申込み・お問合せは、東京支店へ

(株)四季工房 東京支店 TEL.03-6273-3101 FAX.03-6273-3801

✉ tokyo@sikikobo.co.jp 受付時間/10:00~16:30(火・水曜定休日)



【須賀川市 デイサービス和泉の郷】

2023年12月完成



東京駒沢に一昨年ご自宅を建築された田村様から、昨年6月にご主人の故郷である福島県須賀川市に通所介護（デイサービス）施設建築を弊社で請け賜わり、この度無事完成致しました。

建築地の須賀川市南部地区は協定により、歴史的な街並み景観の保全を目的に「風流のまちづくり」に取組んでおります。この施設も建築にあたり審査を受け、周辺の建物にもある軒行灯を取付けました。これは奥州街道の宿場として栄えた須賀川を訪れた芭蕉と、地元俳人の俳句の作で何とも風流な感じですよ。

田村さんの希望は生まれ育った歴史ある須賀川の地で、祖父母が築いた田村音吉商店（現マルイズミ株式会社）を引継ぎ、「介護」を通して社会貢献したい。街並みに溶け込み、昔からそこにあったかのような建物にしたいというもので、その間何社もハウスメーカーを巡る中で四季工房と出会ったと言います。



デイサービスが休みの日は、地域に施設を開放する予定だそうです。

「野崎社長、設計士さんとお話していく過程で考え方が開けました。四季工房なら私達の思いを伝えれば実現すると思った」と振り返ります。事業計画から、様々な申請や準備を経て構想三年で実現したのです。その間ご自宅も建築された田村さんはエアパス工法や木材、漆喰という素材で囲まれた居住空間で存分に体感された感想を「安心して呼吸ができる」と。無垢材に触れることや良い空気感であることは、認知症の方にとっても良い環境だそうです。こういった施設に無垢板や漆喰を使用していることについても「全て説明がつくんですよ」とお話し



軒行灯
（のきあんどん）



してくださいました。
現在二月一日の開業に向け、田村さん夫妻とスタッフの皆様は準備に大忙しです！無事開業を迎えられた後もつつがなく運営されるよう私共もサポートいたします！
（施工本部 沼倉慎吾）

2024年2月開業 利用者募集中！

- 施設名 ● デイサービス 和泉の郷・牡丹
認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護
● デイサービス 和泉の郷・松明
地域密着型通所介護・通所型サービス

お問合せ先 ● マルイズミ株式会社 田村和秀
〒962-0839 福島県須賀川市大町231 ☎0248-94-7056



田村様ご夫妻

東京駒沢に一昨年竣工いたしました、田村様の自邸は、チルチンびと2023年春号に掲載されています。

OB様WEBサロン「ゆいの森」では、四季工房の家を快適に楽しんでいるだけの情報を発信しています。登録はコチラ▶

